



証券コード：9434

2024年2月26日  
ソフトバンク株式会社

# ESG説明会

# 免責事項

本資料に含まれる計画、見通し、戦略その他の将来に関する記述は、本資料作成日時点において当社が入手している情報および合理的であると判断している一定の前提に基づいており、さまざまなりスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績などは、経営環境の変動などにより、当該記述と大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

# 当社のESG経営の考え方

## 経営理念

「情報革命で人々を幸せに」

## ビジョン

「世界に最も必要とされる会社」

「マテリアリティ(重要課題)」

## 成長戦略

Beyond Carrier  
中期経営計画

## 持続可能な社会の実現と 企業価値の向上の両立を目指す



# 持続可能な社会の実現と 企業価値の向上の両立に必要なこととは？



2023年5月 長期ビジョン発表



デジタル化社会の発展に不可欠な  
次世代社会インフラ

# AI共存社会の到来



膨大なデータの生成・処理が必要に

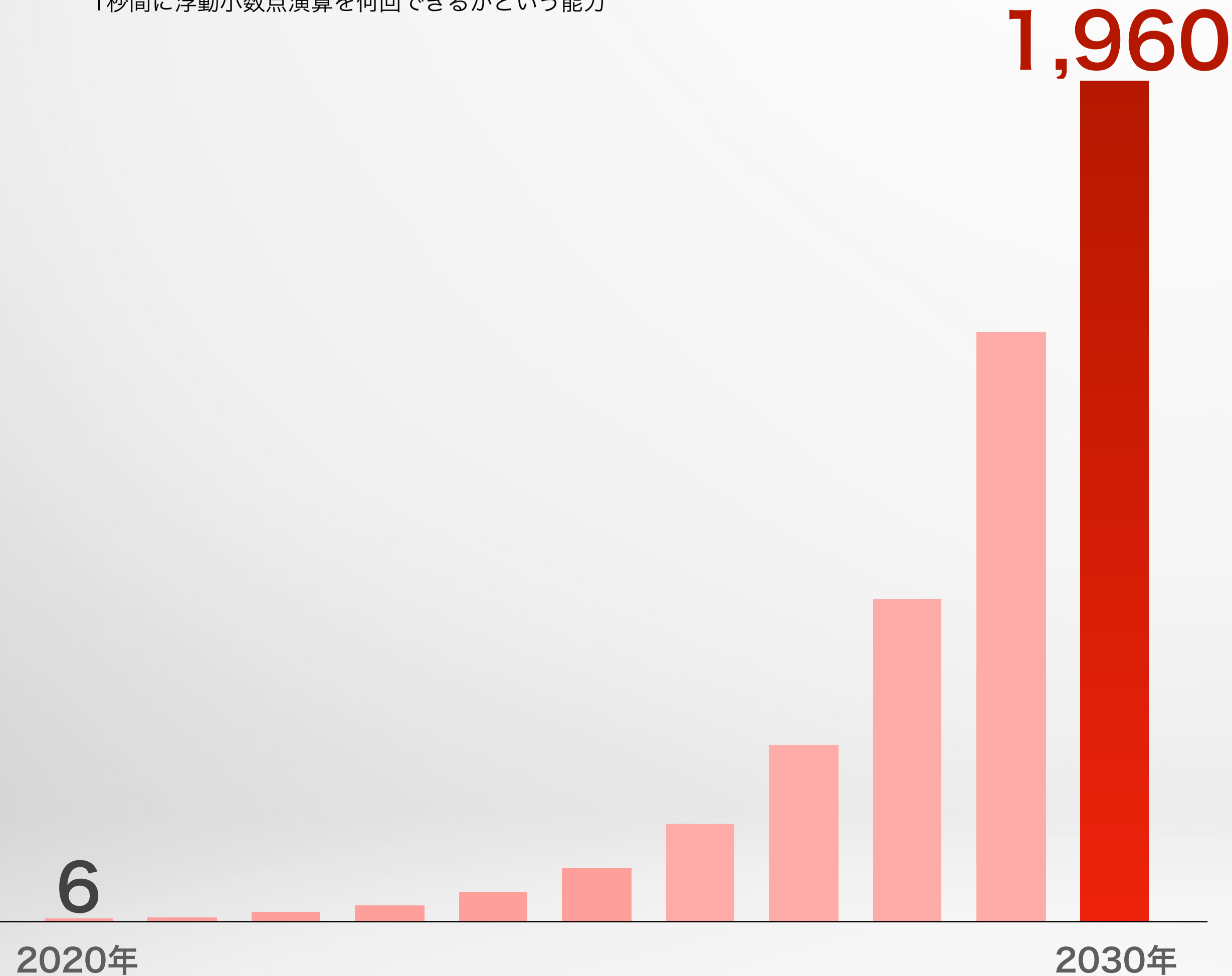
# 日本のデータ処理需要と必要な電力

[エクサFLOPS]

※エクサ：10の18乗（1エクサ=100京）

※FLOPS：コンピュータの処理能力の単位

1秒間に浮動小数点演算を何回できるかという能力



## 1,960EFLOPS



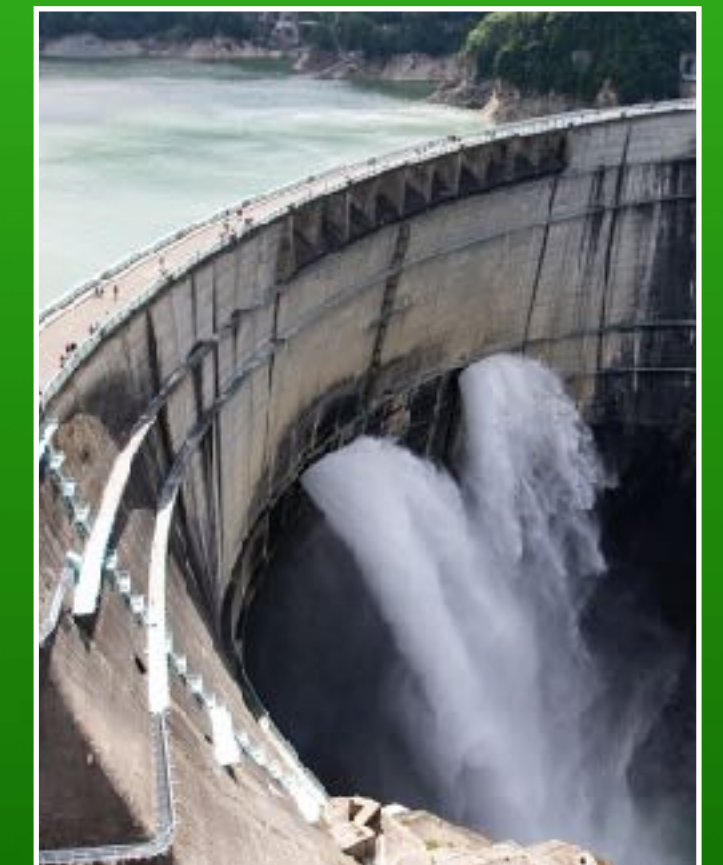
大型  
火力発電 **6基**



# AIによる データ処理需要の増加



# 地球温暖化対策



# 両立する次世代のインフラが必要

# 先行事例：中国の東数西算プロジェクト

(全国一体のコンピューティング・ネットワーク発展計画)



## 西部エリア

豊富な再エネポテンシャル



## 東部エリア

データ処理需要が拡大

## 人口集中



## AI技術の発展





# 先行事例：中国の東数西算プロジェクト



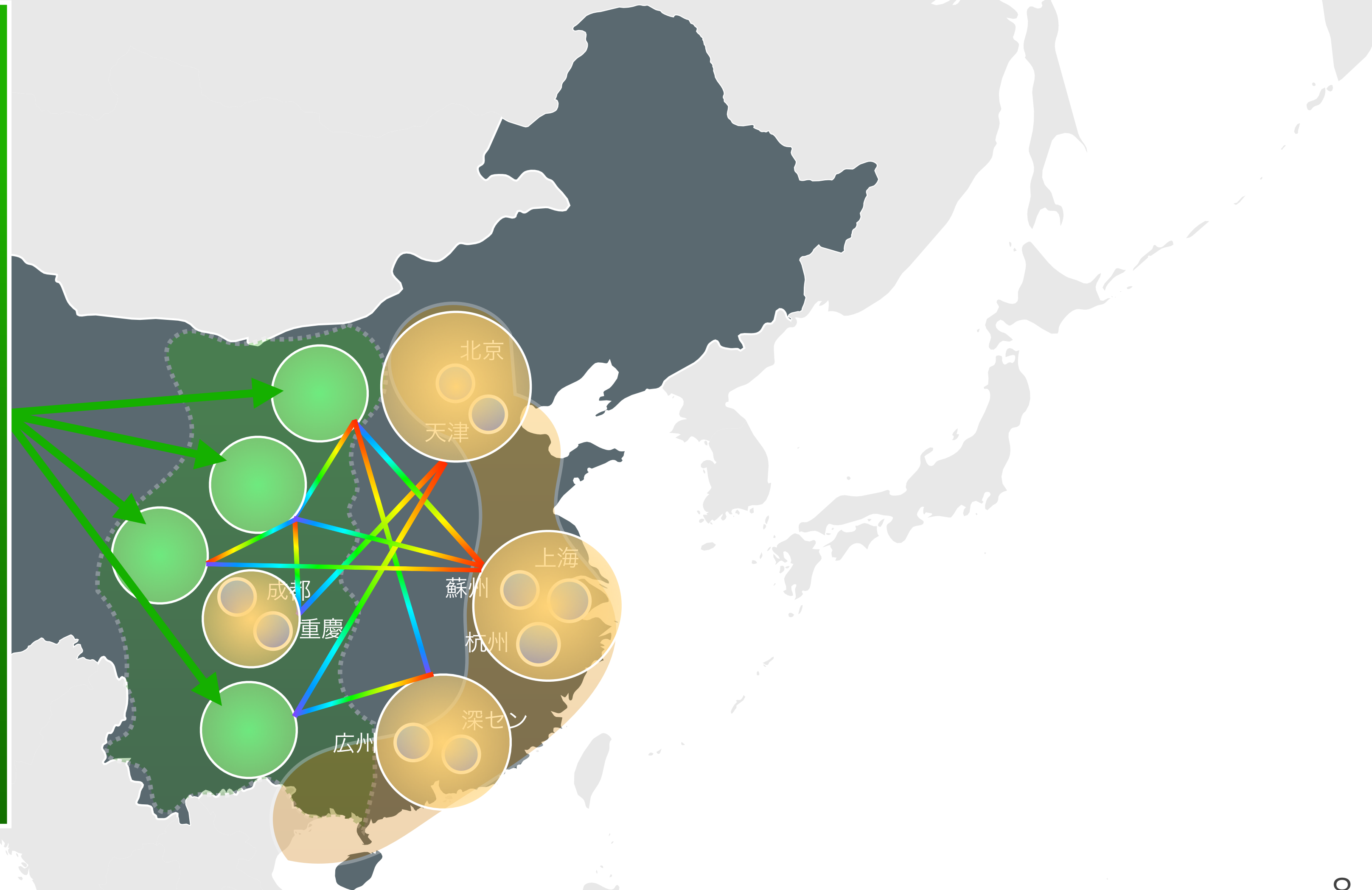
(全国一体のコンピューティング・ネットワーク発展計画)

## グリーンDCの建設



累計投資額 (2021-2025年)

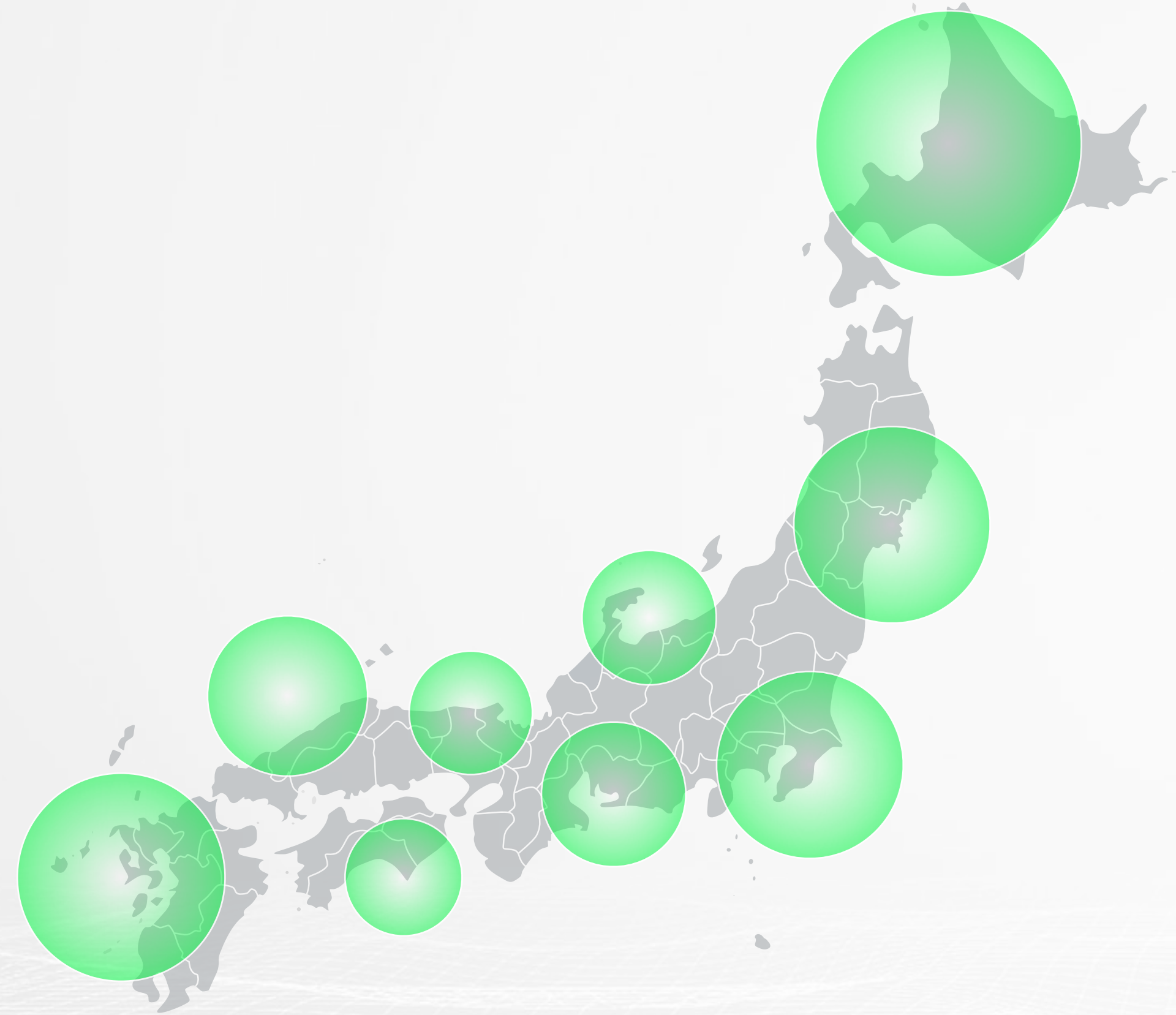
約60兆円



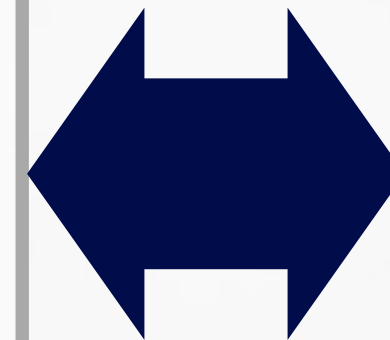
# 再生可能エネルギーの導入ポテンシャル



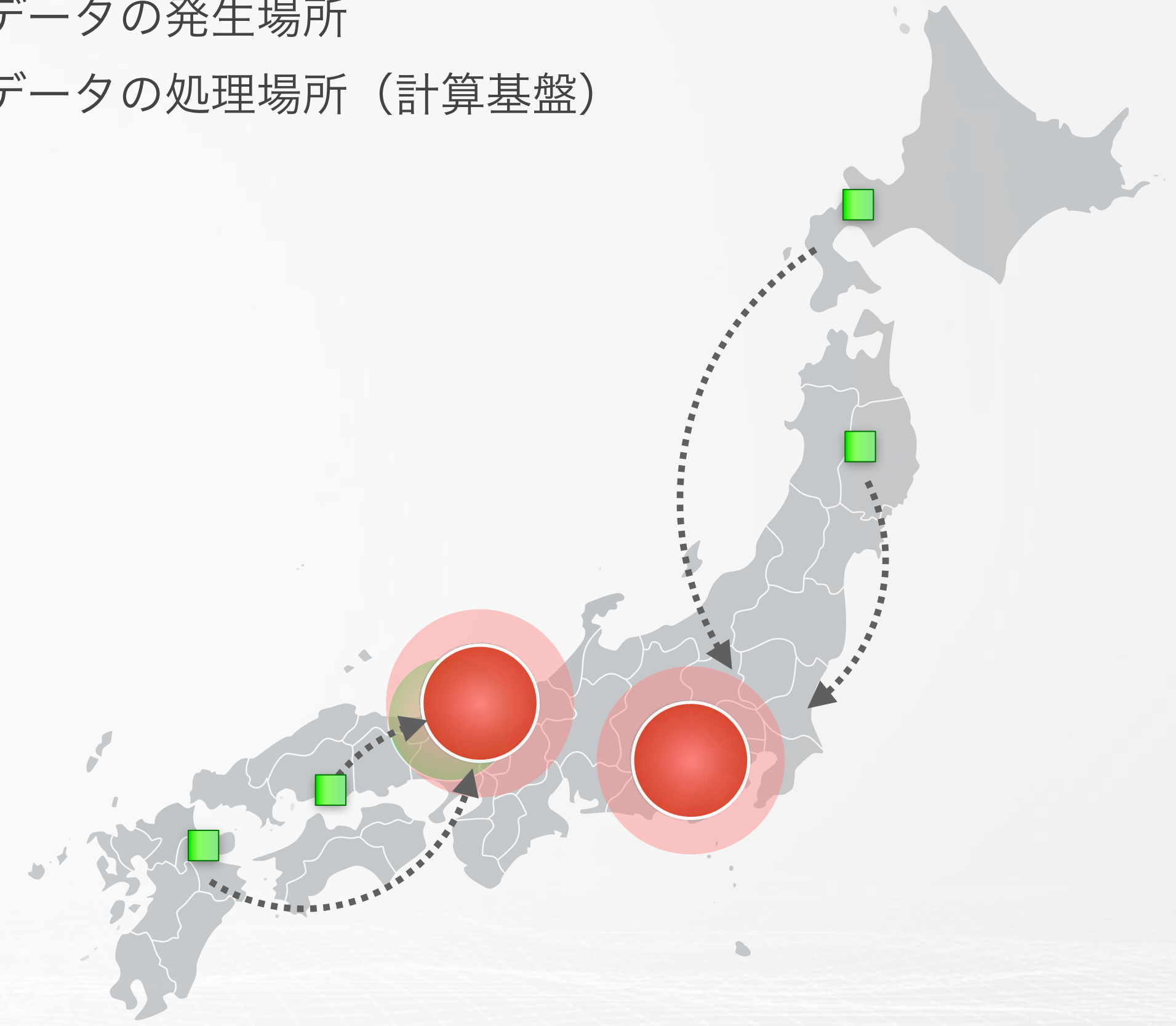
# 現在のインフラ構造における課題



再エネの導入ポテンシャル  
各地域に分散

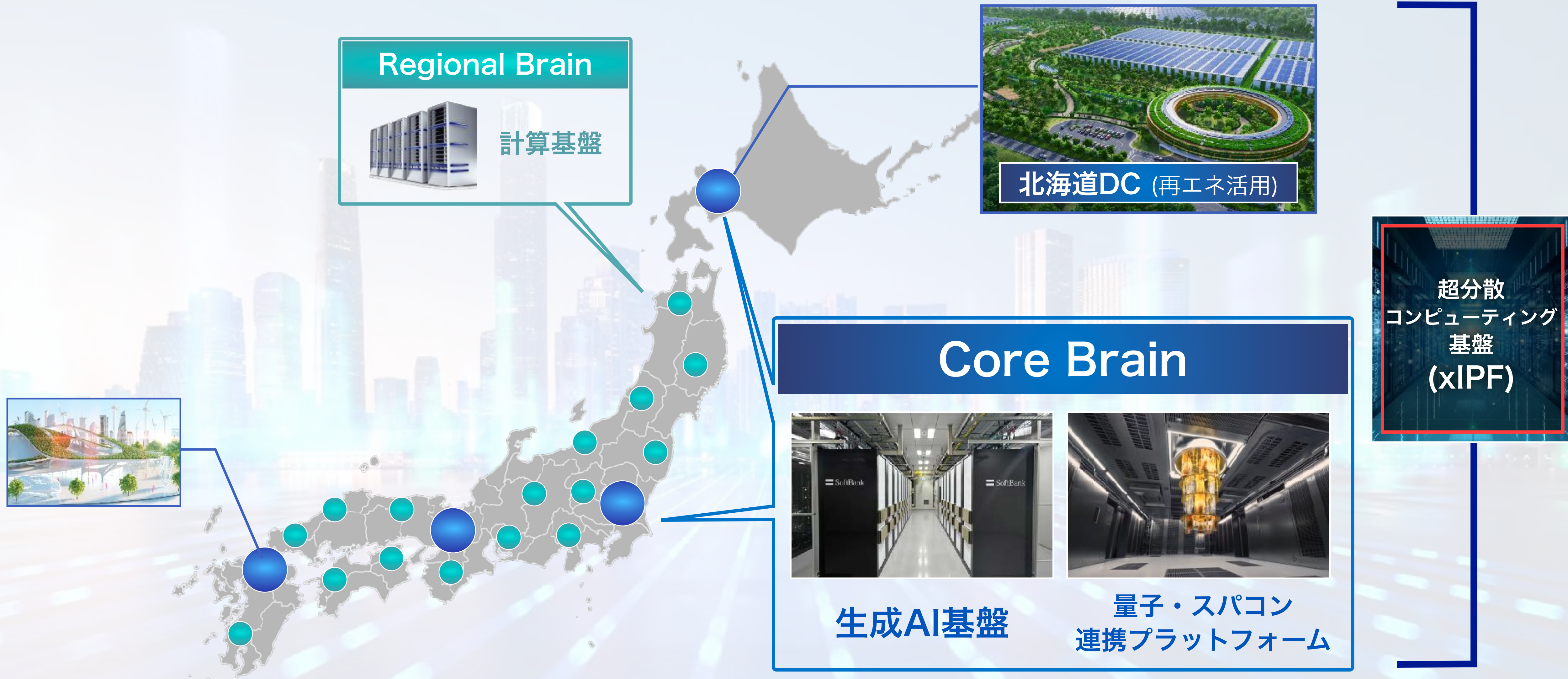


- データの発生場所
- データの処理場所（計算基盤）



データ消費/電力消費  
都市部に集中

# 次世代社会インフラの構造 (分散型AIデータセンター)



# 次世代社会インフラの構造 (分散型AIデータセンター)



## 光電子結合ネットワーク (All optical network)

光技術による省電力・低遅延・大容量の  
基幹NW接続を可能に

全国展開完了  
2023年10月 富士通と共同発表

# 再生可能エネルギーの調達契約を締結

## 通信事業で使用する電力量相当を調達

(約20億kWh)

### 調達スキーム

発電事業者<sup>※1</sup>

再エネ調達

SB Power  
ソフトバンク(株)  
100%子会社

再エネ供給

SoftBank  
(グループ企業含む)

調達期間：20年間<sup>※2</sup>



# 次世代社会インフラ構築に向け戦略的に取り組みを推進

次世代社会インフラの実現に必要なテーマ

具体化した戦略的取り組み

1	AIデータセンターの構築	⇒	北海道DCの構築	発表済み
2	並列計算処理技術の確立	⇒	超分散コンピューティング基盤 (xIPF) の 研究開発	発表済み
3	高度な計算と省電力を 両立する技術	⇒	量子コンピュータとスパコンの 連携PF研究開発	発表済み
4	再生可能エネルギーの 開発・調達	⇒	再エネ長期契約の締結	発表済み
5	省電力な全国光伝送網の構築	⇒	光電子結合ネットワークの全国展開 (All optical network)	発表済み
6	日本の商習慣・文化を踏まえた 生成AI機能	⇒	国産LLMの開発	発表済み

⋮

⋮

# AI共存社会の到来による新たなリスクの可能性

ディープフェイク  
(偽情報)



自動運転車の事故



個人情報流出



超監視社会  
(プライバシー問題)



AIロボットの軍事利用



誤認逮捕





先を見据えた

進化し続けるAIガバナンス



# 「Beyond AI 研究推進機構」における取り組み (2019年12月 協定締結)

## 様々な領域で共同研究を推進



Beyond AI 研究推進機構

(東京大学・SoftBank)

### 基礎研究 (中長期研究)

AIによる脳機能拡張

人工脳組織を用いた脳機能解明

脳情報再現による次世代AI開発

少ない教師情報から高精度予測モデル自動構築

超低消費電力を実現する次世代AIデバイス

AI時代における規範・倫理についての実践研究

⋮

### 応用研究 (ハイサイクル研究・CIP)

医療データの標準化と  
医療データ流通プラットフォーム

医用画像データ運用システムの事業化

デジタルツインを活用した  
スマートシティ

⋮

担当教授チームが当社AI倫理ポリシーの策定・  
各種規程・ガイドライン・教育コンテンツの支援

# AIガバナンスの取り組み

## 「責任あるAI」の実践に向けて、両輪で推進

### AIリスクの適切な管理



AI倫理ポリシーを  
グループ企業72社へ展開



AIガバナンス  
運用スキームの構築



e-learning等を活用した  
社員教育の徹底

### AI積極活用・事業化推進



生成AIコンテンツ  
(提案件数 累計15万件)



マルチモーダル対応  
国産LLMの開発  
(大規模言語モデル)



活用ノウハウの外販

# AIガバナンスの取り組み強化

外部有識者の入った委員会を新たに設置し  
進化し続けるAIガバナンスを目指す

AI倫理ポリシー

+

AIガバナンス委員会 (2024年4月 設置予定)

社内役員 (幹部層)

各部門 (実務層)

↕ 連携

AI戦略室

(AI倫理ポリシーの下、ガイドラインを策定/運用)

外部有識者



- ・ 知見の共有
- ・ ガバナンス運用状況の確認/  
見直し提言

# AI共存社会の到来に向けて

デジタル化社会の発展に不可欠な  
次世代社会インフラの構築



先を見据えた  
進化し続けるAIガバナンス



持続可能な社会の実現と企業価値向上を目指す

# ソフトバンクのESG戦略と 環境対応の推進



ESG推進室 室長  
池田 昌人

# ソフトバンク流 人的資本経営



執行役員 コーポレート統括人事本部 本部長  
源田 泰之